

IUGG2003年総会のシンポジウム・ワークショップ

報告記事の取りまとめについて

「天気」編集委員会

IUGG2003年総会においては、世界の研究者による最先端の成果が発表され、研究交流が行われます。「天気」編集委員会では日本で初めての開催となる今回の総会に参加される会員の方々にその報告記事をご執筆いただき、総会に参加できなかった皆様にも「天気」誌上でその一端を知っていただきたいと考えております。

IUGG2003で開催されるシンポジウム・ワークショップ（以下単に「シンポジウム」と記します）は莫大な数にのぼり、IAMAS（国際気象学・大気科学協会）の関わるものだけで約60もあります。

したがって、報告記事の取りまとめについて、以下の要領で行うこととさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

1 記事の執筆方法

通常原稿と異なり、次のような方法でご執筆いただきます。

- ・各シンポジウム毎に、編集委員会から依頼した方に取りまとめさせていただきます。
- ・それを編集委員会でさらに取りまとめ完成原稿を作成します。

なお、かなりのページ数が見込まれるため、3回程度に分けて掲載する予定です。

2 各シンポジウム毎の取りまとめ者を決定

原則としてIAMASが関わっているものを対象とします（コード名JSM, MI, MC等）。

各シンポジウム毎に執筆、原稿の取りまとめを行っていただく方を決め、予め依頼させていただきます。

取りまとめの方は、各シンポジウムのコンピーナに日本人の方がいらっしゃる場合は、その方に選定を依頼します。それ以外の場合はそのシンポジウムでの発表者を中心に編集委員会から依頼します。また自由投稿を希望される方の自薦を受け付けます。

取りまとめの方は、ご自分で執筆、あるいは他の方に執筆を依頼して、各シンポジウム毎にひとつの報告にまとめていただきます。

3 執筆要領

各シンポジウムあたりの字数はシンポジウムの規模に応じて、刷り上り1/2～2ページ（1000～4000字）

とします。各シンポジウムあたり執筆者が何人いる場合も同じです。シンポジウム毎の長さについては取りまとめの方と個別にご相談させていただきます。

シンポジウム内容についての報告はシンポジウム毎に分離します。シンポジウムをまたがった横断的な報告はご遠慮願います。

4 その他の記事

その他の以下のような内容の記事も可能な限り掲載いたします。投稿を希望される方は、7月31日（木）までに編集委員会担当にご連絡ください。

- (1) IAMASが関わっている以外のシンポジウム
- (2) IUGG2003の会期中に行われるワークショップ等やその他行事
- (3) IUGG全体を通じての所感等
- (4) 大会の雰囲気伝える写真など

5 自由投稿を希望される方

投稿を希望される場合は、報告の執筆を希望するシンポジウム名を7月31日（木）までに編集委員会担当までお知らせください。編集作業の都合上できるだけ早めにご連絡くだされば幸いです。シンポジウム毎の取りまとめの方とご相談のうえ、シンポジウム毎の報告の一部を執筆していただく形といたします。また、シンポジウムの取りまとめをお願いする場合もあります。

事前のご連絡なくご投稿されることは原則としてご遠慮ください。

6 別刷について

執筆者がきわめて多数となる見通しのため、たいへん申し訳ございませんが、執筆者の方への無料別刷の配付が限定されます。ただし、有料別刷の購入は可能です。

編集委員会担当：

山本 哲 気象研究所 Fax 029-855-7240

E-mail: ayamamot@mri-jma.go.jp

小司禎教 気象研究所 Fax 029-853-8649

E-mail: yshoji@mri-jma.go.jp

〒305-0052 つくば市長峰1-1(お電話でのご連絡はお急ぎの場合を除きご遠慮ください)